

平成24年度 十和田市中心市街地活性化協議会第1回総会

会長挨拶

(平成24年6月28日)

「紆余曲折だが市と民間事業主体の努力に敬意」

本日は、委員並びにオブザーバーの皆様方には、何かと御多用中のところ、当協議会総会に御出席を賜り、誠に有り難う御座います。

又、日頃より当協議会へのご理解とご協力をいただいている事に対しまして、あらためて厚く御礼申し上げる次第です。

さて、先般、当市より先に基本計画が国の認定を受け活性化事業を実施してきた青森市が、今年3月で、5年の基本計画の実施期間が終了したようですが、目標数値の達成が困難であるなど、いろいろと今後の課題も多いということで、第2期基本計画を策定し、4月から引き続き中心市街地活性化に取り組んでいるようであります。今後は、このように青森市だけでなく、第2期計画を策定するところが他にも出てくるのではないかと想定されますが、2期計画に突入すれば、当然それなりにお金も労力もかかることになり、それなりの覚悟が必要になるかと思えます。



十和田市中心市街地活性化協議会

会長 石川 正憲

私どもも、平成21年5月に当活性化協議会が設立して既に3年がたちました。その間、各種活性化事業が進められてきましたが、民間主体の事業としては、商業コアゾーンの複合型商業施設として、昨年「アートステーションとわだ」が完成し、最近では、北地区とうてつ跡の商業施設の計画が積極的に進められているようです。紆余曲折しながらも民間の事業が進捗すること、また、進展を努力していただくことは誠にすばらしいことと、民間の事業主体の皆様には改めて敬意を表するものであります。もちろん、市が介入する事業につきましても、中心市街地活性化において市の大きなご理解をいただいているものと、同じく感謝申し上げます。次第であります。

しかしながら当市におきましても、基本計画は中盤にさしかかり、平成27年3月までにその結果を出さなければならない状況にある訳ですが、不況の中、昨年の大震災の影響などもあってか、なかなか計画通りに進むものばかりではないことも事実であります。

本日の総会の報告事項につきましても、本来であれば、もっと早く皆様にお知らせし、適正な協議・ご了承を得るのが当協議会の役割であるところではありますが、いかんせん、特に民間主体の事業は、その事業主体自体の是非にかかっておりますので、事業者の意思がはっきりする前に公表できないところもあります。

毎年5月に開催しているこの総会が、約一ヶ月遅れての開催となりましたのも、これらの理由によるものをご理解いただき、ご容赦願いたいと存じます。

また、当市の基本計画の達成度合いを測るための目標指標であります「街中通行量」と「街中居住人口」については、先般1月の報告会でも市にご報告いただきましたが、まだ、基本計画も途上段階ということもあってか、十分な数値を弾き出すことはできないことも事実ではあります。残る期間に是非とも達成できるよう、市とも協力しあいながら、今年度は目標指標についても改めて考えて参りたいと思います。

本日の総会では、当協議会の活動報告と活動計画の他、各事業の進捗状況について、市及び各事業主体の皆様へ、可能な範囲でご報告いただき、現況について、皆様にご理解を得て参りたいと考えております。委員並びにオブザーバーの皆様には、毎回、ご足労をお掛けいたしますが、今後もこのような場を設ける等、基本計画の進捗状況につきまして、できる限りの情報提供を心がけて参りたいと考えておりますので、今一度、皆様にご協力をお願い申し上げまして、本日のご挨拶に代えさせていただきます。本日はご出席をいただき誠に有り難うございます。